

前沢明峰支援学校

研究テーマ

児童生徒がより主体的に学ぶ姿を目指して
～新学習指導要領に即した「各教科等を合わせた指導」の
授業実践の取組～

1 全体研究

(1) 研究の目的

児童生徒の主体的な学びの姿を明確にし、新学習指導要領の趣旨を踏まえた「各教科等を合わせた指導」の授業改善に取り組み、児童生徒がより主体的に学ぶことができる授業を目指す。

(2) 内容及び方法

①「各教科等を合わせた指導」の授業研究の推進

ア 主体的な学びの姿を目指した授業改善

(ア) 本校における児童生徒が主体的に学ぶ姿の共有

(イ) 児童生徒個々の「主体的な学びの姿」の共通理解

(ウ) 「授業改善の視点」を軸にした授業改善の取組

(エ) PDCAサイクルを活用した授業改善

イ 目標・手立て・評価を明確にした授業づくり

(ア) 授業づくりシートの活用とより効果的なシート
の様式の検討

②授業内容及び授業改善の方法の協議・共有

ア 授業研究会の開催（7月、9月、11月）

(ア) 各学部1回の授業提案と少人数グループでの協議及び協議内容の共有

(イ) 協議内容をまとめた資料の作成

イ 全体研究会の開催（第1回：5月28日、第2回：
12月25日）

(ア) 全体研究、各学部・寄宿舎研究内容等の共通理解、協議（第1回）

(イ) 各学部、寄宿舎の実践報告とその内容に基づく協議（第2回）

(ウ) 全体研究のまとめの報告とその内容に基づく協議（第2回）

(エ) 助言者による指導助言（第2回）

③新学習指導要領の理解の推進

ア 岩手県高等学校教育研究会（高教研）特別支援教育部会講演会の開催

（7月31日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。）

イ 実践研究部通信の発行（不定期）

2 各学部の研究の主な内容と方法

(1) 小学部

①小学部児童の「主体的な学びの姿」の共有

②小学部の「授業改善の視点」を活用した授業改善

ア 「授業改善の視点」の確認

イ 小学部の「授業改善の視点」を意識し、PDCA
サイクルを活用した授業づくり

ウ 学団・学年・学級ごとの授業実践

エ 授業公開と授業研究会

(2) 中学部

①授業づくり

ア 生徒が主体となって取り組める単元についての
検討

イ 授業づくりシートを活用した授業実践

②実践報告・協議・共有を通じた授業改善

ア 実践報告

イ 授業づくりシート様式の検討

ウ 授業提案

エ PDCAサイクルの活用(授業の評価、単元の評価)

③研究のまとめ

(3) 高等部

①高等部の「作業学習」の目的やねらいについて共通
理解

ア 高等部学習指導要領について確認

イ 高等部経営の「指導計画」について確認

②「授業改善の視点」の共有

ア 「授業改善の視点」について確認

イ 高等部の「授業改善の視点」へ具体化

③高等部の「授業改善の視点」を活用した授業改善

ア 授業参観週間の実施

イ 授業づくり

ウ 授業研究会

(4) 寄宿舎

①指導実践

ア 新実態把握シートとプランニングシートを利用
した個別の生活指導計画の作成

イ 本人が分かりやすく主体的に活動できる、目的と
具体的な手立てを考えた取り組み

②実践報告

ア 各棟1事例ずつ、計2事例の協議

イ 実態把握の様式や二期制の導入について、寄宿舎
生全員を対象にしたデータの収集

③3年間の研究のまとめ

ア 主体的に学ぶ姿の共有

イ 寄宿舎生がより主体的に学ぶための、個別の生活
指導計画作成～活用について

ウ 寄宿舎における組織的な改善

3 研修会

第2回全体研究会で、岩手大学大学院教育学研究科准教授 佐々木 全 氏による講義（「知的障害特別支援教育における、授業づくりの方針と実際」）を開催した。